

OKI グループの CSR 推進の取り組み

OKI グループは、「OKIは「進取の精神」をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。」という企業理念のもと、関係法令の遵守はもちろん、社会的良識をもって健全な企業活動を展開し、CSR を果たすための諸活動に積極的に取り組んでいます。

CSR 推進本部および CSR 委員会を新設

OKIグループは、2004年10月のCSRの専任組織「CSR推進部」の設置と同時に、重点的に推進する6つの活動テーマを設定し、関連部門が連携して取り組んできました。2005年10月にはOKIグループが企業理念に立脚して果たすべき社会的責任を「OKIグループ企業行動憲章」としてまとめ、社員への徹底をはかっています。

CSR活動をさらに深化させるため、2007年4月には、従来のCSR推進部およびコンプライアンス推進部を統合し「CSR推進本部」を新設。また6月には、「CSR委員会」を設置しました。第1回の委員会では従前の重点項目「コンプライアンスの推進」を「コンプライアンスの徹底」としてCSR活動全般を支える基本項目と位置づけるとともに、「情報セキュリティ」を重点項目として新たに掲げて推進していくことを確認しました。

「OKI グループ行動規範」の制定

OKIは、2007年8月30日に開催された取締役会において、「OKIグループ企業行動憲章」に基づきOKIグループ各社の全役員・社員がとるべき行動を示した「OKIグループ行動規範」の制定を決議しました。同規範は、2002年に制定した「OKI行動規範」の内容をふまえて、グローバルに求められる企業の社会的な行動を加味し、海外を含めたグループ全体で共有できる普遍的な表現で整理したものです。

こうした規範は内部統制の基礎としても有用であり、2008年3月末までに、国内外のOKIグループ120社においても、同規範をグループ各社の取締役会で採択しました。

同規範をグループ全体に徹底するため、憲章と規範の全文を解説とともにまとめたパンフレットを4ヶ国語（日本語・英語・中国語・タイ語）で作成、各社での取締役会決議にあわ

せ、対象となる全社員に配付しています。また国内では、社員が実務で規範の各項目を着実に遵守できるよう、日本の法令に準じた「具体的な行動基準」を定めてイントラネットなどに提示しました。

OKIは今後とも誠実な企業活動を遂行するとともに、さらなる信頼関係の構築と企業価値の向上につながるCSR活動を、グループを挙げて推進していきます。



企業行動憲章・行動規範の社員向けパンフレット（日本語版）

» CSR 重点領域と 2007 年度の注力ポイント

CSR 活動領域	掲載ページ	2007 年度注力ポイント
● コンプライアンスの徹底	20 ~ 21	リスクマネジメントの着実な継続 各リスク評価の見直しとモニタリングの充実
● 情報セキュリティ	22 ~ 23	情報セキュリティを新たに CSR 活動の重点項目と位置づけ対応強化 情報セキュリティ委員会の設置によるグループ管理の徹底
● お客様満足の向上	24 ~ 25	品質事故対応ルールのグループ各社版制定 品質保証活動・製品安全活動をお客様により知っていただくための活動を推進 ユニバーサルデザイン技術の応用拡大
● 株主・投資家への情報発信	26	国内機関投資家向け IR イベントの充実（事業セミナー、工場見学等）
● 社員の尊重	27 ~ 29	多様な人材の確保と育成 次世代育成支援のための環境づくり 生産拠点の安全教育強化 こころの健康づくりのグループ企業展開
● 環境への対応	30 ~ 31	製品に対するグローバルな環境規制への確実な適合 事業活動における省エネルギーなど温室効果ガスの削減 製品の低消費電力化による温室効果ガスの削減 海外生産拠点への環境 ISO 統合認証範囲拡大
● 社会貢献	32 ~ 34	「OKIらしい社会貢献」の再確認とグループ展開 ボランティア活動等に関する社員への情報発信強化